

1期採択団体決定!!



大阪・扇町ミュージアムキューブ 関西の若手劇団・演劇人育成へ 新提携事業『U-30応援企画』始動

株式会社シアターワークショップ(本社:東京都渋谷区)が運営している扇町ミュージアムキューブ(所在地:大阪府大阪市)は、優れた舞台芸術公演を支援する提携事業『OMCラインナップ』に加え、今年度から新たな提携事業『U-30応援企画』を立ち上げました。関西圏の若手劇団を対象に公演の場所と機会を提供するほか、劇場としての総合的なサポートや、スタッフとの対話・実践を通して、若手のステップアップと新たな創作への挑戦を支援するものです。

6月より募集を開始したところ多くのエントリーがあり、計8団体を採択いたしました。今回が初めての本公演となるユニットから、学生劇団として旗揚げし卒業後の継続的な活動を目指す団体まで、当館のコンセプトに呼応する多彩な顔触れが揃いました。『OMCラインナップ』提携公演と合わせ、これからの関西の演劇シーンを見据えた本企画にも、ぜひご注目いただけますと幸いです。

『U-30応援企画』概要 公式HP:<https://omcube.jp/2026/08/17/10944/>

対象	関西を拠点としている、あるいは今後定期的に関西圏での活動を希望している、構成員の2/3以上が応募時点で30歳未満の劇団を対象にしています。
支援内容	利用料金の減額を通じた上演機会の提供にとどまらず、劇場として企画・運営／技術面まで含めた総合的なサポートを行うことで、作品制作と活動基盤形成を後押しします。 『U-30応援企画』の上演会場となるのは、扇町ミュージアムキューブの中で2番目に大きく、100㎡の平土間空間を自由にカスタマイズ可能なCUBE02。また、計10個の様々なサイズの空間(CUBE)を有する当館の強みを活かし、CUBE04～10の諸室を計20時間無料・以降半額にて提供。稽古場としてだけでなく、ワークショップやミーティングの場として活用し、企画立案から本番まで、館内で作品創造に専念できる体制を実現します。

『U-30応援企画』1期採択団体

*公演日時順、日程は劇場利用予定期間 *地域は各劇団の活動拠点

[大阪]	バイビー、ラン	8月20日(木)～23日(日)	第1回本公演『DOLL』(作・如月小春)
[大阪]	ナハトオイリア	11月11日(水)～15日(日)	「第3回西の風戯曲賞」佳作受賞作を初上演
[大阪]	第3回大阪学生演劇祭	12月 2日(水)～ 7日(月)	24年に学生主体で始動・OMCで継続開催 2027年
[兵庫]	劇団アンゴラ・ステーク	2月18日(木)～21日(日)	神戸発、笑いと不条理のあわいへ
[京都]	wkwork Inc.	4月15日(木)～19日(月)	06生まれが手掛けるエンタメプロダクション
[兵庫]	劇団温冷兼用	9月 9日(木)～12日(日)	学生劇団時代のOMC進出作をブラッシュアップ
[大阪]	ゆゆしきモータープール	9月17日(金)～20日(月)	25年CUBE05で旗揚げし、初の本公演へ
[大阪]	美術団体めいろ	9月23日(木)～26日(日)	団体10周年、旗揚げ作品を再構築

公式ハッシュタグ

#OMC_U30 #OMCそだちざかり

【お問い合わせ】
扇町ミュージアムキューブ

【MAIL】 info@omcube.jp
【TEL】 06-6766-4166

▼ 公演終了済み

2026年8月 ベイビー、ラン

大阪芸術大学大学院舞台領域所属の田中陽太が立ち上げた個人ユニット。団体名の由来は「赤ん坊のようにままならない身体と、それでも前に進みたい/走り続けたいと思う心」から。シアターゲームや子どもの遊びから着想を得た「ルール」を核とする作風が特徴。「ルール」に縛られることで、役者の身体感覚に一体感が生まれ、物語のコンセプトや人物の内面が浮き上がる。そう信じて創作に取り組んでいる。2024年に大阪市立芸術創造館にて開催された「ぱくっと！2024」参加作品『ライカ・イン・ザ・スプートニク』で旗揚げ、ショーケース等での作品発表を重ねてきた。今回満を持しての第1回本公演の上演作として選んだのは、大学卒業制作公演にて学長賞を受賞、「演劇人コンクール2025」で観客賞と審査員奨励賞をW受賞した『DOLL』（作・如月小春）。フレッシュなキャスト陣とともに更にブラッシュアップし上演、満員御礼となった。 X: [@babyrun1107](#) / Instagram: [@babyrun1107](#)



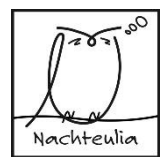
「第10回全国学生演劇祭」参加作品
『わたしたちの失敗』
2025年3月 扇町ミュージアムキューブCUBE01



第1回本公演『DOLL』（撮影:脇田友）

▼ 今後公演予定

2026年11月 ナハトオイリア



栗田和哉を主宰とし、2024年大阪にてアーティストの創作の場として旗揚げ。「肯定的、あるいは否定的な感情を、分け隔てなく作品へと昇華できる場所」であることを創作の根幹に置く。既存のエンターテインメントの枠組みに捉われず、現代社会に生きる人々が直面する「生きづらさ」や「静かな葛藤」を誠実に描く人間ドラマを追求。叙情豊かな言葉を用いて、個人の孤独や救済に深く向き合う真摯な作風は、閉塞感の漂う同世代の観客との間に深い共鳴を生み、高い評価を得ている。 X: [@nachteulia](#) / Instagram: [@nachteulia](#)



第2回公演『追憶』2024年9月
STAGE+PLUS(大阪)
(撮影:オカダクト)

2026年12月 第3回大阪学生演劇祭

関西圏、おもに大阪府内の大学生による演劇大会。1団体45分の上演時間で審査員票と観客票によって最も優れた作品を決定し、選出された代表団体は翌年3月に札幌で開催される「全国学生演劇祭」への参加資格を得ることができる。2024年CUBE02での「大阪学生演劇祭2024」、2025年CUBE01での「第10回全国学生演劇祭」開催を機に、学生による実行委員会を組織。翌年以降、扇町ミュージアムキューブを会場に開催し、今回が3回目の実施となる。単なるコンテストではなく、参加団体や実行委員、観客を含む参加者同士が繋がる場づくり・活動を互いに応援し合うような時間にするのが目標。 X: [@OSTF2024](#) / Instagram: [@ostf 2025](#)



撮影:脇田友

2027年2月 劇団アンゴラ・ステーキ

「ナンセンス、ノーウェイヴ」をモットーに、2022年5月、主宰・中村圭吾が神戸にて旗揚げし、現在は俳優・制作スタッフなど8名で活動。関西の小劇場を中心に、喜劇と悲劇のミゾを右往左往する舞台をつくっている。これまで劇場や企画にあわせて、1か月弱にわたるロングラン公演、上演時間3時間の不条理コメディ、客席数を20席に絞った一人芝居など、作品ごとに上演のかたちもさまざま。商店街の小劇場での公演や学生演劇祭への参加など、劇場や企画にあわせていろいろな上演を試してきた。『京都学生演劇祭2024』では舞台監督賞・音響賞を受賞。 X: [@Angola steak](#) / Instagram: [@angola steak](#)



2027年4月

ワークワーク
wkwork Inc.



関西を拠点とするエンターテインメント制作プロダクション。ライブダンスイベント「AwesomePoPStage」シリーズをはじめ、演劇作品のプロデュース、ファンイベント、外部制作など、幅広いジャンルの企画・製作・運営を手がける。

これまで「AwesomePoPStage」は全公演ソールドアウトを記録。演劇作品『いつてしまえばマリッジブルー』では東京・大阪の二大都市ツアー公演を展開するなど、関西発の企画力を活かしながら首都圏へも活動の幅を広げている。

公式HP: <https://wk-work.jimdosite.com/>

2027年9月

劇団 温冷兼用



2024年旗揚げ。同年11月「大阪学生演劇祭2024」にて第1回公演『猛犬注意』を上演。脚本賞、スタッフ賞を受賞。その後は自主公演やアイホール・ショーケースへの参加のほか、第2回大阪学生演劇祭ラウンドトークや、神戸文化ホールの公開フォーラムに登壇するなど活動の幅を広げている。

「温冷兼用」の名の通り様々な作風に挑戦し、音や緩急、細かな美術に拘った舞台作りを得意としている。

X:

@onreikenyou0112

Instagram:

@onreikenyou0112

▶大阪学生演劇祭2024

『猛犬注意』2024年11月

扇町ミュージアムキューブ

CUBE02 (撮影:脇田友)



2027年9月

ゆゆしきモータープール



劇作家・市原もゆが主宰する個人演劇ユニット。2025年、伊丹想流劇塾7期卒塾をきっかけに、自身の戯曲を発表するために立ち上げ、

CUBE05にて旗揚げ公演。日常に転がる小さな違和感や、どこかズレた人々の会話から生まれる、シュールでクスッと笑える会話劇を中心に創作。ユニット名の由来でもある「モータープール(駐車場)」のように、人やアイデアが自由に行き交う「出入り自由な創作空間」を目指している。

X: @yuyu mpool



▶ オムニバス公演vol.1
『現時点では』2025年11月
扇町ミュージアムキューブ
CUBE05

2027年9月

美術団体 めいろう

2016年京都芸術大学在学中に加島百菜を中心とし「観客の“目色”を惑わせて、物語の“迷路”に誘いこむ」をコンセプトに「妥協は死、満足は腐敗、神は細部に宿るもの」を合言葉として始動した専門の違う美術作家達の団体。親子問題や児童虐待、いじめ、デートDV、発達障害やセクシャルマイノリティをめぐる課題など、社会問題を現代美術に置き換えて問題提起をすることを目的とし、年に一度、舞台を軸にしたパフォーマンスや作品展覧会などを行っている。

公式HP: <https://fori.io/gekidanmeiro>

X: @gekidan meiro



扇町ミュージアムキューブ

公式HP <https://omcube.jp/>



大阪市北区・扇町の新しい文化創造拠点となるべく2023年10月にオープンした、株式会社シアターワークショップが運営する民間の劇場。医療複合施設i-Mall(アイモール)内にあり、250席の劇場【CUBE01】やミニシアター【扇町キネマ(CUBE03)】、ワークショップや展示のできる【CUBE05】、音楽やダンスの練習室として使える【CUBE08】など、大小さまざまな10個のCUBEからなるシアターコンプレックスです。

所在地 〒530-0052 大阪府大阪市北区南扇町6-26

アクセス 大阪メトロ堺筋線「扇町」駅(5番出口)から徒歩3分

JR環状線「天満」駅から徒歩7分/JR「大阪」駅から徒歩15分

シアターワークショップは劇場・ホールに関することはなんでもやっている、トータル・シアタープロデュースカンパニーです。40年にわたる劇場づくりのノウハウ、ホール運営の長年の経験を集結し、構想・計画づくり、設計・施工・運営のコンサルティング、そして開館後の劇場運営、イベントの企画制作に至るまで、劇場・ホールにかかるあらゆる業務を行っています。

Theatre
Workshop

株式会社シアターワークショップ

東京都渋谷区神宮前6-23-3 第9SYビル3階

info@theatre-workshop.co.jp (受付時間 平日9:30-18:30)